

「リニア・市民ネット」明星大学橋山教授を招き 「中央リニア新幹線の課題」で学習会

5月23日、「リニア・市民ネット」主催による、リニア建設の問題について第2回学習会が甲府市で開催されました。今回は、明星大学橋山教授を招き「中央リニア新幹線の課題」として講演がありました。主催者を代表して慶応大学川村教授から「リニア建設は財政的問題、環境への影響等多くの課題が指摘されている」との挨拶がありました。

学習会には、神奈川県議会議員、相模原市議会議員、笛吹市議会議員、さらに今回地質調査が行われた大鹿村の団体などリニア建設の予定地とされている地域から約40名が参加され、JR総連から萩原副委員長、JR東海労から淵上副委員長が参加しました。

講演後の質疑で「長野県とJR東海は勉強会をやっているが住民への説明はない」「建設費5.1兆円は前の数字だがその内容は公表していない」「JR東海はなぜ住民や社会に情報を出さないのか」「地質調査は騒音で子供が引付を起こすほどで、JR東海に電話したが取り次ごうとも

しなかった」「住民への説明すらしない生活破壊である」「なぜ強引にリニアを作るのか政治や利権なのか」など、リニアありきで強引に進めているJR東海の姿勢に対し批判が多く出されました。



参加者から「JR東海は情報を公表しない」「住民への説明はない」「住民の生活破壊」と批判